みずほマーケット・トピック（2016 年 10 月 21 日）

週末版

内容　1．為替相場の動向　2．来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、本日出張のため、「3．本日のトピック」はお休みさせて頂きます。

1．為替相場の動向（関連レポート：「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」）

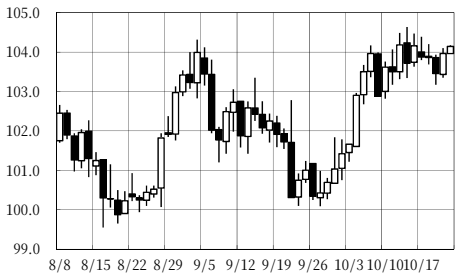
・今週のドル/円相場は往って来いの展開。週初 17 日、前週末の米経済指標の良好な結果を受けて年内利上げ期待が高まる中、シドニー時間にドル/円は一時週高値となる 104.40 円をつけ、東京時間は 104 円台近辺でオープン。中国経済の不透明感が浮上する中、円買い優勢地合いになると 103 円台後半まで下落したが、米金利上昇を背景に 104 円台を回復。しかし、米 10 月ニューヨーク連銀製造業景気指数の市場予想を大きく下回る結果を嫌気すると、ドル/円は再び 103 円台後半まで下落した。18 日は、米大手銀行などの良好な企業決算や NY ダウ平均の大幅高を受けドル/円は 104 円台前半まで上伸する場面が見られるも、軟調な原油価格や米長期金利低下を背景に 103 円台後半まで反落。翌 19 日には、米 9 月住宅着工件数の悪化やカナダ中銀が政策金利を据え置き、更に声明文が市場予想よりハト派ではなかったことから対カナダドルでドル売りが強まると、ドル/円は一時週安値となる 103.17 円まで下落した。20 日にかけては米大統領選候補者による第 3 回討論会が開催される中、ドル/円は 103 円台半ばで小動き。その後、ECB 理事会後のドラギ ECB 総裁の発言を受けてドル買いユーロ売りが強まると、ドル/円は 104 円台前半まで上昇した。本日にかけては前日の流れを引き継ぎ、ドル/円は 104 円台前半で小動きとなっている。

・今週のユーロ相場は週後半に一時急伸するも、軟調な展開。週初 17 日、1.09 台後半でオープンしたユーロ/ドルは、独長期債金利の上昇やユーロ圏 9 月消費者物価指数の結果を好感すると 1.10 台に乗せた。しかし、翌 18 日には英 9 月消費者物価指数の市場予想を上回る結果を受けて、ユーロ/ポンドの利益確定売りも散見される中、ユーロ/ドルは 1.09 台後半に下落。19 日は翌日に ECB 理事会を控え、追加緩和の決定ないし示唆が行われることを念頭にユーロ売り優勢地合いになると、ユーロ/ドルは 1.09 台半ばまで値を下げた。20 日、注目された ECB 理事会では市場予想通り据え置きとなり、理事会後のドラギ ECB 総裁の会見では、量的緩和の延長については議論しなかったとの発言に一旦はユーロ買いが強まり、ユーロ/ドルは一時週高値となる 1.1040 まで急伸した。しかし、量的緩和の縮小（テーパリング）については議論していないとのコメントや次回会合における追加緩和に含みを持たせたことが材料視されると、一時週安値となる 1.0916 まで売り進められた。本日にかけても、ユーロ/ドルは 1.09 台前半の安値圏での推移が継続している。

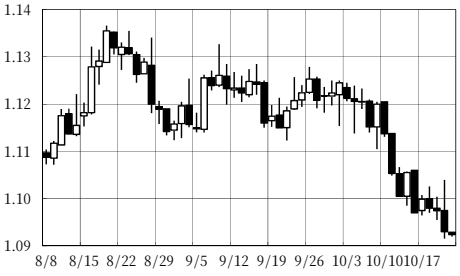
今週のおもな金融市場動向（出所：ブルームバーグ、みずほ銀行）

		前週末	今週			
		10/14(Fri)	10/17(Mon)	10/18(Tue)	10/19(Wed)	10/20(Thu)
ドル/円	東京9:00	103.74	104.04	103.86	103.88	103.40
	High	104.48	104.40	104.20	103.95	104.11
	Low	103.61	103.79	103.69	103.17	103.35
	NY 17:00	104.16	103.88	103.86	103.46	103.96
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1048	1.0966	1.1011	1.0974	1.0973
	High	1.1060	1.1008	1.1026	1.1005	1.1040
	Low	1.0971	1.0964	1.0970	1.0955	1.0916
	NY 17:00	1.0971	1.0999	1.0980	1.0975	1.0930
ユーロ/円	東京9:00	114.61	114.15	114.34	113.99	113.50
	High	115.05	114.55	114.67	114.16	114.54
	Low	114.23	114.05	114.00	113.12	113.38
	NY 17:00	114.31	114.27	114.05	113.50	113.61
日経平均株価		16,856.37	16,900.12	16,963.61	16,998.91	17,235.50
TOPIX		1,347.19	1,352.56	1,356.57	1,357.20	1,370.80
NYダウ工業株30種平均		18,138.38	18,086.40	18,161.94	18,202.62	18,162.35
NASDAQ		5,214.16	5,199.82	5,243.84	5,246.41	5,241.83
日本10年債		-0.05%	-0.05%	-0.05%	-0.06%	-0.07%
米国10年債		1.80%	1.77%	1.74%	1.74%	1.76%
原油価格（WTI）		50.35	49.94	50.29	51.60	50.63
金（NY）		1,255.50	1,256.60	1,262.90	1,269.90	1,267.50

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

・米国では、28 日（金）に 7～9 月期 GDP（1 次速報値）の発表が予定されている。4～6 月期 GDP は前期比年率+1.4%と市場予想（同+2.5%）を大きく下回る結果となった。個人消費は底堅さを保ったものの、設備投資と在庫投資の減速が影響した模様だ。7～9 月期については、労働市場の緩やかな改善が続いており、個人消費は引き続き米経済を下支えする見込み。また、4～6 月期に減速した設備投資は、相関が強い設備稼働率が低下から横ばいに基調が改善しており、回復する可能性が高い。そのため、7～9 月期 GDP は前期比年率+2.5%と 4～6 月期から持ち直すと市場では予想されている。このほか、25 日（火）に 10 月消費者信頼感指数、26 日（水）に 9 月新築住宅販売件数、27 日（木）に 9 月耐久財受注及び 9 月製造業受注の発表が予定されている。また、FRB 高官発言では、24 日（月）にブラード・セントルイス連銀総裁、エバンズ・シカゴ連銀総裁、25 日（火）にロックハート・アトランタ連銀総裁の講演が予定されている。

・本邦では、28 日（金）に 9 月全国消費者物価指数（CPI）が発表され、8 月（同▲0.5%）とほぼ変わらない結果を予想する。先行指標となる 9 月東京都区部 CPI は同▲0.5%と 8 月（同▲0.5%）から伸び率は変わらなかった。エネルギー価格の低迷や、携帯電話の価格下落（同▲8.3%）などが、東京都区部 CPI の加速を押さえている模様だ。こうした傾向は、9 月全国 CPI でも見られると考える。なお、市場参加者の中には、年初来の円高による輸入物価下落の影響はこれから表れるため、今後も低い伸び率が続くと予想する向きもある。このほか、24 日（月）に 9 月貿易収支、28 日（金）に 10 月東京都区部 CPI の発表が予定されている。

・欧州では、27 日（木）に英 7～9 月期 GDP（速報値）の発表が予定されている。英国国立経済社会研究所（NIESR）の予想によれば、前期比+0.4%と 4～6 月期（同+0.7%）から減速する見込みである。NIESR は、個人消費は底堅い伸びが見込まれるものの、生産の落ち込みが 7～9 月期 GDP の減速に繋がると述べた。実際、8 月鉱工業生産は 3 か月ぶりの前月比マイナスとなるなど、弱い動きが見られている。このほか、25 日（火）に独 10 月 IFO 企業景況感指数、28 日（金）に仏 7～9 月 GDP（速報値）、西 7～9 月 GDP（速報値）、仏 10 月 CPI（速報値）、独 10 月 CPI（速報値）の発表が予定されている。

	本　邦	海　外
10 月 21 日（金）	――――――――――――	・米 9 月小売売上高　・米 9 月生産者物価 ・米 8 月企業在庫 ・米 10 月ミシガン大学消費者マインド（速報） ・ユーロ圏 8 月貿易収支
24 日（月）	・9 月貿易収支 ・8 月景気動向指数（確報）	・ユーロ圏 10 月製造業 PMI、サービス業 PMI
25 日（火）	――――――――――――	・米 8 月 S&P/コアロジックケース・シラー住宅価格
26 日（水）	・9 月企業向けサービス価格	・米 9 月新築住宅販売
27 日（木）	――――――――――――	・米 9 月耐久財受注（速報）
28 日（金）	・9 月労働力調査 ・10 月東京都区部・9 月全国消費者物価 ・9 月家計調査	・米 7～9 月期雇用コスト ・米 7～9 月期 GDP(1 次速報) ・米 10 月ミシガン大学消費者マインド（確報）

【当面の主要行事日程（2016 年 10 月～）】

日銀金融政策決定会合（10 月 31～11 月 1 日、12 月 19～20 日、2017 年 1 月 30～31 日）
米 FOMC(11 月 1～2 日、12 月 13～14 日、2017 年 1 月 31～2 月 1 日)
ユーロ圏財務相理事会・EU 経済・財務相理事会（11 月 7～8 日、ブリュッセル）
米大統領議会選挙（11 月 8 日）
ECB 理事会（12 月 8 日、2017 年 1 月 19 日、3 月 9 日）

国際為替部
チーフマーケット・エコノミスト
唐鎌　大輔（TEL：03-3242-7065）
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

経済指標カレンダー（2016年10月）

月	火	水	木	金	週末
3 日本　日銀短観（9月調査） 日本　自動車販売台数（9月） 米国　建設支出（8月） 米国　ISM製造業景況指数（9月）	**4** 日本　マネタリーベース（9月）	**5** 米国　ADP雇用統計（9月） 米国　貿易収支（8月） 米国　ISM非製造業景気指数（9月） 米国　製造業新規受注（8月） 米国　耐久財受注（確報、8月）	**6** ドイツ　製造業受注（8月） G20財務大臣・中央銀行総裁会議(ワシントンD.C.)	**7** 日本　景気動向指数（速報、8月） 日本　毎月勤労統計（8月） 米国　雇用統計（9月） 米国　卸売売上高（確報、8月） 米国　消費者信用残高（8月） ドイツ　鉱工業生産（8月） IMF世銀・年次総会（～9日、ワシントンD.C.）	
10 日本　体育の日 ユーロ圏　財務相会合（ルクセンブルク） ドイツ　貿易収支（8月）	**11** 日本　景気ウォッチャー調査（9月） 日本　企業倒産件数（9月） 米国　労働市場情勢指数（9月） 米国　*財政収支（9月） ユーロ圏　EU経済・財務相理事会（ルクセンブルク） ドイツ　ZEW景況指数（10月）	**12** 日本　機械受注（8月） 日本　国際収支（8月） 米国　FOMC議事要旨（9月20～21日開催分） ユーロ圏　鉱工業生産（8月）	**13** 日本　貸出・預金動向（9月） 日本　第三次産業活動指数（8月）	**14** 日本　マネーストック（9月） 日本　国内企業物価（9月） 米国　小売売上高（9月） 米国　生産者物価（9月） 米国　企業在庫（8月） 米国　ミシガン大学消費者マインド（速報、10月） ユーロ圏　貿易収支（8月）	
17 日本　鉱工業生産（確報、8月） 米国　ニューヨーク連銀製造業景気指数（10月） 米国　鉱工業生産（速報、9月） ユーロ圏　消費者物価（確報、9月）	**18** 米国　消費者物価（9月） 米国　米TICレポート(対内対外証券投資、8月）	**19** 米国　住宅着工（9月） 米国　ベージュブック	**20** 米国　中古住宅販売（9月） 米国　景気先行指数（9月） 米国　フィラデルフィア連銀製造業景気指数（10月） ユーロ圏　経常収支（8月） ユーロ圏　ECB理事会（フランクフルト） ユーロ圏　EU首脳会議（～21日、ブリュッセル）	**21**	
24 日本　貿易収支（9月） 日本　景気動向指数（確報、8月） ユーロ圏　製造業PMI、サービス業PMI(10月)	**25** 米国　S&P/コアロジックケース・シラー住宅価格（8月） 米国　消費者信頼感指数（10月） ドイツ　IFO企業景況指数（10月）	**26** 日本　企業向けサービス価格（9月） 米国　新築住宅販売（9月）	**27** 米国　耐久財受注（速報、9月）	**28** 日本　労働力調査（9月） 日本　全国消費者物価（9月） 日本　東京都区部消費者物価（10月） 日本　家計調査（9月） 米国　雇用コスト（7～9月期） 米国　GDP(1次速報、7～9月期) 米国　ミシガン大学消費者マインド（確報、10月）	
31 日本　日銀金融政策決定会合（～11月1日） 日本　鉱工業生産（速報、9月） 日本　商業販売統計（9月） 日本　住宅着工（9月） 米国　個人所得・消費（9月） 米国　シカゴ購買部協会景気指数（10月） ユーロ圏　GDP(速報値、7～9月期)					

（注）*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
（資料）ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー（2016年11月）

月	火	水	木	金	週末
	1 日本　金融政策決定会合・展望（基本的見解） 日本　自動車販売台数（10月） 米国　FOMC(～2日) 米国　ISM製造業景気指数（10月） 米国　建設支出（9月）	**2** 日本　マネタリーベース（10月） 米国　ADP雇用統計（10月）	**3** 日本　文化の日 米国　労働生産性（速報、7～9月期） 米国　ISM非製造業景気指数（10月） 米国　製造業新規受注（9月） 米国　耐久財受注（確報、9月） ユーロ圏　失業率（9月）	**4** 米国　雇用統計（10月） 米国　貿易収支（9月）	
7 日本　金融政策決定会合議事要旨（9月20～21日開催分） 日本　毎月勤労統計（9月） 米国　労働市場情勢指数（10月） 米国　消費者信用残高（9月） ユーロ圏　財務相会合（ブリュッセル） ドイツ　製造業受注（9月）	**8** 日本　景気動向指数（速報、9月） 米国　大統領議会選挙 ユーロ圏　EU経済・財務相理事会（ブリュッセル） ドイツ　鉱工業生産（9月） ドイツ　貿易収支（9月）	**9** 日本　国際収支（9月） 日本　貸出・預金動向（10月） 日本　景気ウォッチャー調査（10月） 日本　企業倒産件数（10月） 米国　卸売売上高（9月） 米国　卸売在庫（確報、9月）	**10** 日本　金融政策決定会合による主な意見（10月31～11月1日開催分） 日本　機械受注（9月） 日本　マネーストック（10月） 米国　財政収支（10月）	**11** 日本　第三次産業活動指数（9月） 日本　国内企業物価（10月） 米国　ミシガン大学消費者マインド（速報、11月）	
14 日本　GDP(1次速報、7～9月期) 日本　鉱工業生産（確報、9月） ユーロ圏　鉱工業生産（速報、9月）	**15** 米国　ニューヨーク連銀製造業景気指数（11月） 米国　小売売上高（10月） 米国　企業在庫（9月） ユーロ圏　貿易収支（9月） ユーロ圏　GDP(速報、7～9月期) ドイツ　ZEW景況指数（11月） ドイツ　GDP(速報、7～9月期)	**16** 米国　生産者物価（10月） 米国　鉱工業生産（10月） 米国　TICレポート（対内対外証券投資、9月）	**17** 米国　住宅着工（10月） 米国　消費者物価（10月） 米国　フィラデルフィア連銀製造業景気指数（11月） ユーロ圏　消費者物価（確報、10月）	**18** 米国　景気先行指数（10月） ユーロ圏　経常収支（9月）	
21 日本　貿易収支（10月）	**22** 米国　中古住宅販売（10月）	**23** 日本　勤労感謝の日 米国　耐久財受注（速報、10月） 米国　新築住宅販売（10月） 米国　ミシガン大学消費者マインド（確報、11月） 米国　FOMC議事要旨（11月1～2日開催分） ユーロ圏　製造業PMI、サービス業PMI（速報、11月）	**24** 日本　景気動向指数（確報、9月） ドイツ　GDP(確報、7～9月期) ドイツ　IFO企業景況指数（11月）	**25** 日本　全国消費者物価（10月） 日本　東京都区部消費者物価（11月） 日本　企業向けサービス価格（10月） 米国　卸売在庫（速報、10月）	
28	**29** 日本　労働力調査（10月） 日本　家計調査（10月） 日本　商業販売統計（10月） 米国　GDP(2次速報、7～9月期) 米国　S&P/コアロジックケース・シラー住宅価格（9月） 米国　消費者信頼感指数（11月）	**30** 日本　鉱工業生産（速報、10月） 日本　新設住宅着工（10月） 米国　ADP雇用統計（11月） 米国　個人消費・所得（10月） 米国　PCEコアデフレーター（10月） 米国　シカゴ購買部協会景気指数（11月） ユーロ圏　消費者物価（速報、11月）			

（注）*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
（資料）ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html　(Archives)　http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2016年10月20日	最近の対内・対外証券投資動向と為替について
2016年10月19日	英ポンド急落の読み方～通貨安戦争の勝ち組～②
2016年10月18日	英ポンド急落の読み方～通貨安戦争の勝ち組～
2016年10月17日	米為替政策報告書を受けて～ドル高忌避変わらず～
2016年10月14日	週末版
2016年10月7日	週末版
2016年10月5日	ECBのテーパリング観測～予想すべきは真逆の方向～
2016年10月4日	世界にとってのテールリスクとなる「欧州の潔癖主義」
2016年10月3日	外貨準備構成通貨の現状（2016年6月末時点）
2016年9月30日	週末版
2016年9月27日	ユーロ圏の与信、物価、為替に関する状況整理
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2016年8月分）
2016年9月26日	ハードルが上がった日銀の追加緩和
2016年9月23日	週末版（日米金融政策決定会合を終えて～確度が強まる円高見通し～）
2016年9月20日	米大統領選挙と為替相場に対する考え方について
2016年9月16日	週末版(「日銀相場」の活かし方～断ち切られた株と為替のリンク～)
2016年9月15日	G4通貨の調整状況～懸念されるドル安不足～
2016年9月14日	日銀会合プレビュー～「量との決別。金利への転進」～
2016年9月13日	ブレイナード講演を終えて～ハト派の矜持～
2016年9月12日	米利上げに怯える株式市場～「ドル高の罠」再び～
2016年9月9日	週末版（ECB理事会を終えて～注目はパラメーター修正の「次の論点」へ～）
2016年9月8日	円相場の基礎的需給環境～2016年7月～
2016年9月6日	ECB理事会プレビュー～「お茶を濁す」方法～
2016年9月5日	足許の円安の本質～「4か月前の円安」と同質～
2016年9月2日	週末版
2016年8月30日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2016年7月分）
2016年8月29日	イエレン議長講演を受けて～「短期は強気、長期は弱気」～
2016年8月26日	週末版(ドル高相場の読み方、考え方～何を、どう見ておくべきか～)
2016年8月24日	最近のユーロ相場の状況について
2016年8月23日	黒田日銀総裁インタビューを受けて
2016年8月22日	ECB理事会議事要旨（7月20～21日開催分）
2016年8月19日	週末版（円安・円高の正しい評価とは～交易条件、実質所得、ISバランスなどの観点から～）
2016年8月18日	FOMC議事要旨（7月26～27日開催分）～自信喪失？～
2016年8月17日	「円買い」ではなく「ドル売り」に主導された円高
2016年8月16日	リスクシナリオとしての世界経済の底打ち機運
2016年8月15日	本邦4～6月期GDP～実質所得環境は改善中～
2016年8月12日	週末版(人民元ショックから1年～『国際金融のトリレンマ』に照らしたおさらい)
2016年8月10日	円相場の基礎的需給環境～2016年上半期～
2016年8月5日	週末版（総括的検証で問われるべきは「戦術」ではなく「戦略」の妥当性～『失敗の本質』は何か～）
2016年8月4日	イタリア問題Q&A～Italeaveまで至るか否か～
2016年8月3日	今一度確認しておきたい米利上げとドル高の意味
2016年8月2日	欧州銀行に対するストレステスト～残るイタリアへの不安～
2016年8月1日	日銀金融政策決定会合を終えて（7月28～29日開催分）
2016年7月29日	週末版
2016年7月28日	FOMCを終えて（7月26～27日開催分）
2016年7月26日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2016 年6月分）
2016年7月22日	週末版（ECB理事会を終えて～「嵐」の前の静けさ～）
2016年7月21日	日銀金融政策決定会合プレビュー（7月28～29日開催分）
2016年7月20日	明らかになり始めたBrexitの下押し圧力について
2016年7月19日	「空気を読まない」EU政策当局への危機感
2016年7月15日	週末版(ECB理事会プレビュー～現状維持も「次の一手」は近い～)
2016年7月14日	危う過ぎるヘリマネ議論～円の信認を「叩き壊す」政策～
2016年7月13日	ドル/円相場、急騰の解釈～「木」ではなく「森」を見るべき～
2016年7月11日	米6月雇用統計～いよいよ諦観が漂い始めた米利上げ～
2016年7月8日	週末版(円相場の基礎的需給環境について～頭打ちの経常黒字～)
2016年7月7日	FOMC議事要旨～崩れ始めるファイティングポーズ～
2016年7月4日	経験則に学ぶドル/円相場の「波」～簡単には終わらず～
2016年7月1日	週末版（BrexitにEUの責任はないのか？～ユーロ圏を「監獄」にしないために～）
2016年6月27日	Brexit後のリスク要因再点検～トランプリスクとFRB緩和リスク～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2016 年5月分）
2016年6月24日	週末版
2016年6月23日	TLTRO IIプレビュー～6月23日、もう1つの論点～
2016年6月21日	英国のEU離脱（Brexit）とユーロ相場見通し
2016年6月20日	英議員殺害で思い返されるアンナ・リンド事件
2016年6月17日	週末版（日銀金融政策決定会合を終えて～「No」と言う勇気と奇襲の「ツケ」～）
2016年6月16日	FOMCを終えて～「利上げの有無」を超えて～
2016年6月15日	英国のEU離脱（Brexit）を巡るQ&A
2016年6月14日	ドル/円相場、水準感の整理～攻守交代の時～
2016年6月10日	週末版(7月以降、ECBは現状維持を貫けるか～戻らないHICPに苦しめられる公算～)
2016年6月9日	日銀金融政策決定会合プレビュー
2016年6月8日	円相場の基礎的需給環境について
2016年6月7日	イエレンFRB議長講演と米雇用情勢について
2016年6月6日	米5月雇用統計～もはや正常化以前の問題か～
2016年6月3日	週末版(ECB理事会を終えて～2周年を迎えたマイナス金利～)
2016年6月2日	消費増税先送りと「悪い円安」論について
2016年6月1日	年内「最後の円安」に備える時か
2016年5月30日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2016 年4月分）
2016年5月27日	週末版(本日のトピック：ECB理事会プレビュー～目玉政策を控えて現状維持～)
2016年5月26日	投機ポジションにおける「ドル買いの正体」
2016年5月25日	米通貨・金融政策の捻じれ～「ドル高の罠」から抜けられず～
2016年5月23日	仙台G7 を終えて～論点変わらず見通しに影響なし～
2016年5月20日	週末版
2016年5月18日	本邦1～3月期GDP～「不都合な結果」とはならず～
2016年5月17日	ECBのバランスシートとユーロ相場の関係などについて
2016年5月16日	消費増税先送り報道と市場への影響などについて
2016年5月13日	週末版(マイナス金利導入から3か月～外的要因に圧倒される状況続く～)
2016年5月12日	円相場の基礎的需給環境について～第1四半期を終えて～
2016年5月11日	伊勢志摩合意に必要なドイツの説得
2016年5月9日	薄れる米雇用統計の影響力～「量」と「質」の捻じれも懸念～
2016年5月6日	週末版(米為替政策報告書と「秩序的（orderly）」について～結局はドル高が辛くなっただけ～)
2016年4月28日	日銀金融政策決定会合～「良い球」を逃した結末は・・・～
	週末版(FOMCを終えて～論点は変わらずドル高懸念～)